拝啓　時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

　○○さんご夫婦には、銀婚式を迎えられ、その祝宴を催されるとのことで、誠におめでたく、心よりお祝い申し上げます。

　お二人の結婚式にうかがってからこんなにも月日が過ぎたかと思うと、時の速さにあらためて驚きを覚えずにはいられません。

　最近は、ご夫婦で共通のご趣味を見つけられ、休日にはお二人でテニスを楽しんでおられるときいております。そのようにいつまでも仲睦まじく、こうして銀婚式を迎えられるのは、だれにでも享受できることではございません。

　どうぞ○○さんご夫婦には、ますますのご円満さをもってご一門の繁栄を築かれ、是非とも栄えある金婚式を迎えていただきたいと存じます。

　略式ながら書中にてお祝い申し上げます。

敬具